

- 問1 飛鳥時代、天智天皇の死後にその後継をめぐって起きた大規模な内乱である「壬申の乱」について、その結果と歴史的影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 聖徳太子が推古天皇の摂政となり、冠位十二階と十七条の憲法を定めて天皇の権威を高めた。 | 2. 勝利した大海人皇子が天武天皇として即位し、天皇中心の強力な中央集権国家体制を築く基盤となった。 | 3. 平氏との戦いに勝利した源頼朝が征夷大將軍に任命され、武家政権による統治が本格化した。 | 4. 中大兄皇子が蘇我氏を打倒し、公地公民を基本とする政治改革である大化の改新が始まるきっかけとなった。 |
|---|--|---|--|
- 問2 603年から607年ごろの飛鳥時代において、国内の政治体制を整えるために行われた政策と、同時期の対外政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 役人の心得を示す十七条の憲法を制定し、中臣鎌足とともに唐の文化を取り入れるための遣唐使を派遣した。 | 2. 仏教を弾圧しようとする勢力を抑えるために大仏を造立し、朝鮮半島へ軍隊を派遣して白村江の戦いに臨んだ。 | 3. 土地と人民を国家が管理する公地公民を確立し、隋の皇帝から日本の王としての地位を認める金印を授かった。 | 4. 家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用する冠位十二階を定め、小野妹子を遣隋使として派遣した。 |
|--|---|---|---|
- 問3 日本最古の銅銭とされる「富本銭」に関する説明として、歴史的な背景や事実に基づいた適切な記述はどれですか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。 | 2. 元明天皇が平城京への遷都に合わせ発行し、役人の給与として初めて全国に普及した。 | 3. 平安時代に唐から輸入された貨幣をモデルにして、日本国内で初めて流通した鉄銭である。 | 4. 室町時代に足利義満が明との貿易を行うために、中国から輸入して国内の市で使用させた。 |
|---|--|--|--|
- 問4 聖徳太子が定めた「冠位十二階」という制度は、それまでの豪族が家柄によって高い官職を独占していた政治の仕組みをどのように変えようとしたものですか。その意図として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 地方の反乱を抑えるために、武力に優れた人物へ征夷大將軍の称号を与えようとした | 2. 大陸から伝わった仏教を広めるために、僧侶に対して特別な色の冠を授けようとした | 3. 家柄に関わらず、個人の才能や功績に応じて役人を登用し、天皇中心の政治体制を整えようとした | 4. 有力な豪族に対して、先祖代々の功績に基づき永久に高い位を保証しようとした |
|---|---|---|---|
- 問5 701年に制定され、唐の制度を模範として天皇を中心とした中央集権的な政治体制の基礎を確立した法典は何ですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 1. 養老律令 | 2. 十七条の憲法 | 3. 御成敗式目 | 4. 大宝律令 |
|---------|-----------|----------|---------|
- 問6 大化の改新の中心人物である中大兄皇子が、天智天皇として即位した後に行った、律令国家の形成に向けた取り組みの説明として最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|---|
| 1. 仏教の力によって国を守るため、全国に国分寺・国分尼寺を建て、大仏を造立した。 | 2. 冠位十二階と十七条の憲法を制定し、天皇中心の政治の仕組みを整えた。 | 3. 大規模な内乱である壬申の乱に勝利した後、強力な専制政治を行い飛鳥浄御原令を編纂した。 | 4. 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。 |
|---|--------------------------------------|---|---|
- 問7 天武天皇の時期に作成が開始された「庚午年籍」などの戸籍は、中央集権体制を築く上でどのような目的で作成されましたか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 地方の豪族に対して土地の私有権を認め、その忠誠を確保するため | 2. 諸外国との交易を円滑にするため、都市部の商人層の構成を調査するため | 3. 仏教による国家の安定を目指し、全国の寺院と僧侶の数を管理するため | 4. 人民の居住地や氏姓を把握し、税の徴収や徴兵を確実にするための基礎とするため |
|-----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
- 問8 聖徳太子が制定した「十七条の憲法」の目的として、当時の政治的背景から考えて最も適切な説明はどれか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 神話の時代から続く天皇の歴史を記録することで、天皇による統治の正当性を内外に示した。 | 2. 豪族どうしの争いを鎮め、役人としての自覚を持たせることで天皇中心の政治を目指した。 | 3. 唐の優れた法律にならい、日本で初めてとなる刑罰のきまりと政治の仕組みを明文化した。 | 4. 氏姓制度を維持するために、有力な豪族が代々高い官職を独占することを認めた。 |
|---|--|--|--|
- 問9 壬申の乱という大規模な内乱を経て、大海人皇子（天武天皇）が自らの権威を背景に構築を目指した、法に基づく国家体制を何と呼びますか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 律令国家 | 2. 摂関政治 | 3. 幕藩体制 | 4. 封建国家 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 飛鳥時代に聖徳太子によって建立されたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物としてユネスコの世界文化遺産にも登録されている、奈良県にある寺院を選びなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 唐招提寺 | 2. 東大寺 | 3. 四天王寺 | 4. 法隆寺 |
|---------|--------|---------|--------|
- 問11 白村江の戦いでの敗北を受け、九州北部には水城や大野城といった防衛施設が次々と建設されました。これらの施設や海岸線の警備にあたるため、主に東国などの遠方から徴用され、九州へ派遣された兵士を何と呼びますか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 武士 | 2. 御家人 | 3. 防人 | 4. 健児 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問12 7世紀前半、聖徳太子（厩戸王）らが中心となって推進した、日本で最初の本格的な仏教文化を何というか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 弘仁・貞観文化 | 2. 天平文化 | 3. 飛鳥文化 | 4. 国風文化 |
|------------|---------|---------|---------|
- 問13 天智天皇の死後に発生した大規模な後継者争いである壬申の乱に勝利し、即位したのち、天皇を中心とする強力な中央集権国家の体制を整えた人物を次の中から選びなさい。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 推古天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 天武天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が、政治に関わる役人の心構えを説き、天皇の命令には必ず従うべきであることなどを示した法を何といいますか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|------------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 御成敗式目 | 3. 五箇条の御誓文 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|----------|------------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 勝利した大海人皇子が天武天皇として即位し、天皇中心の強力な中央集権国家体制を築く基盤となった。	壬申の乱は672年に発生した、古代日本における最大の内乱です。天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を破って勝利しました。この乱の後、大海人皇子は天武天皇として即位し、それまでの有力豪族との合議制ではなく、天皇が絶対的な権力を握る専制的な統治を確立しました。これが後の律令国家の完成へと繋がっていきます。
問2	答え 4 家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用する冠位十二階を定め、小野妹子を遣隋使として派遣した。	聖徳太子は国内では603年に冠位十二階を定めて氏姓制度にとらわれない人材登用を行い、翌604年には十七条の憲法を制定して役人の道徳を示しました。これら国内の改革と並行して、607年には小野妹子を遣隋使として派遣し、対外的な地位の向上を図りました。中臣鎌足や白村江の戦いは後の天智天皇（中大兄皇子）の時代であり、金印は1世紀の「漢委奴国王」のものです。
問3	答え 1 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。	飛鳥時代の天武天皇が「今より以後、必ず銅銭を用いよ」という詔（みことり）を出した時期と重なる7世紀後半につくられました。1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から、鋳型などの製作道具とともに大量に発見されたことで、和同開珎よりも古いものであることが定説となりました。広く一般の市場で流通したというよりは、国家の威信を示す目的や儀式的な意味合いが強かったと推測されています。
問4	答え 3 家柄に関わらず、個人の才能や功績に応じて役人を登用し、天皇中心の政治体制を整えようとした	それまでの日本は、氏姓制度によって特定の豪族が世襲的に高い地位を占めていた。聖徳太子は、天皇を中心とした中央集権的な国家を作るため、家柄ではなく個人の能力や実績を評価する「冠位十二階」を導入した。これにより、優れた人材を政府に集めることが可能になり、官僚組織の基礎が築かれた。冠の色で位階を区別する視覚的な序列化も行われた。
問5	答え 4 大宝律令	唐の「律（刑罰規定）」と「令（行政規定）」を参考にして、日本で初めて本格的に整備された律令です。この法典の完成により、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則に基づいた律令国家の仕組みが形作られました。
問6	答え 4 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。	中大兄皇子（天智天皇）は、白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅の侵攻に備えた国防の強化と並行して、国内の統治体制を整えました。近江大津宮への遷都や庚午年籍の作成は、中央集権的な律令国家を建設するための重要なステップとなりました。他の選択肢は、それぞれ聖徳太子（冠位十二階）、聖武天皇（大仏造立）、天武天皇（壬申の乱）の内容です。
問7	答え 4 人民の居住地や氏姓を把握し、税の徴収や徴兵を確実にするための基礎とするため	中央集権国家の確立には、国家が直接人民を支配し、労働力や税を徴収する仕組みが不可欠でした。戸籍（庚午年籍）を作成して全国規模で人民を登録することで、公平かつ確実な徴税や徴兵を可能にし、天皇による統治基盤を強化する狙いがありました。
問8	答え 2 豪族どうしの争いを鎮め、役人としての自覚を持たせることで天皇中心の政治を目指した。	当時の政治は有力豪族である蘇我氏などが強い勢力を持っていましたが、聖徳太子は官吏（役人）の心得を定めることで、個々の豪族が勝手な行動を慎み、天皇に忠実に仕える体制を整えようとした。同時に導入された「冠位十二階」とともに、家柄にとらわれない中央集権的な国家づくりが意図されていました。
問9	答え 1 律令国家	天武天皇は、内乱を勝ち抜いたことで得た強大な権力を用い、官僚組織の整備や戸籍の作成、法典（律令）の編纂などを進めました。このように、天皇を頂点として法によって全国を統治する仕組みを律令国家と呼びます。この流れは、次の持統天皇や大宝律令の完成へと引き継がれていきました。
問10	答え 4 法隆寺	聖徳太子が建立したとされる法隆寺は、飛鳥時代の面影を今に伝える建築群として知られています。特に西院伽藍は世界最古の木造建築物とされ、1993年に日本で初めての世界文化遺産の一つとして登録されました。聖武天皇によって奈良時代に建立された東大寺や、聖徳太子が大阪に建立した四天王寺とは、所在地や建築物の特徴から区別する必要があります。
問11	答え 3 防人	唐や新羅の侵攻に備えるため、当時の政府は全国から兵士を徴用しましたが、特に九州北部の警備には「防人（さきもり）」が配置されました。彼らの多くは東国の農民から選ばれ、住み慣れた故郷を離れて厳しい任務に就きました。その苦しみや家族への思いを詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として数多く収められています。
問12	答え 3 飛鳥文化	百済などの渡来人を通じて伝えられた仏教を基盤とし、法隆寺に代表される寺院建築や仏像制作が盛んになった時期の文化を指す。これは日本における仏教文化の原点であり、大陸や朝鮮半島の技術が色濃く反映されている。
問13	答え 3 天武天皇	天武天皇は、大海人皇子として壬申の乱で大友皇子（天智天皇の子）を破って即位しました。即位後は、官僚組織の整備や「天皇」という称号、「日本」という国号の使用を開始するなど、律令国家としての基盤となる中央集権的な仕組みを強力に推進しました。
問14	答え 4 十七条の憲法	聖徳太子が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に制定されました。役人に対して道徳的な訓戒を与え、天皇を中心とした国家体制（中央集権国家）を築くことを目的としています。仏教や儒教の教えが取り入れられている点も大きな特徴です。